

平成25年4月10日

中部地方整備局

岐阜市の歴史的風致維持向上計画を認定します ～岐阜県内4例目の認定。同一府県内の認定数は全国最多！～

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」第5条に基づき、岐阜県岐阜市から計画認定申請があった歴史的風致維持向上計画について、4月11日に主務大臣（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）が認定を行います。これを受け、以下のとおり、赤澤国土交通大臣政務官が、主務大臣連名の認定証を岐阜市長に交付します。

中部地方整備局では、岐阜市の歴史的風致維持向上計画に基づく取組（歴史的建造物の保存・活用、道路の修景整備等）対し、社会資本整備総合交付金等を用いた支援を行ってまいります。

認定証交付の日時：平成25年4月11日（木） 17：15～

認定証交付の場所：国土交通省（中央合同庁舎3号館）4階
赤澤大臣政務官室

（東京都千代田区霞が関2-1-3）

※ 長野県長野市、島根県津和野町についても、同日認定されます。

◎中部における歴史的風致維持向上計画の認定状況

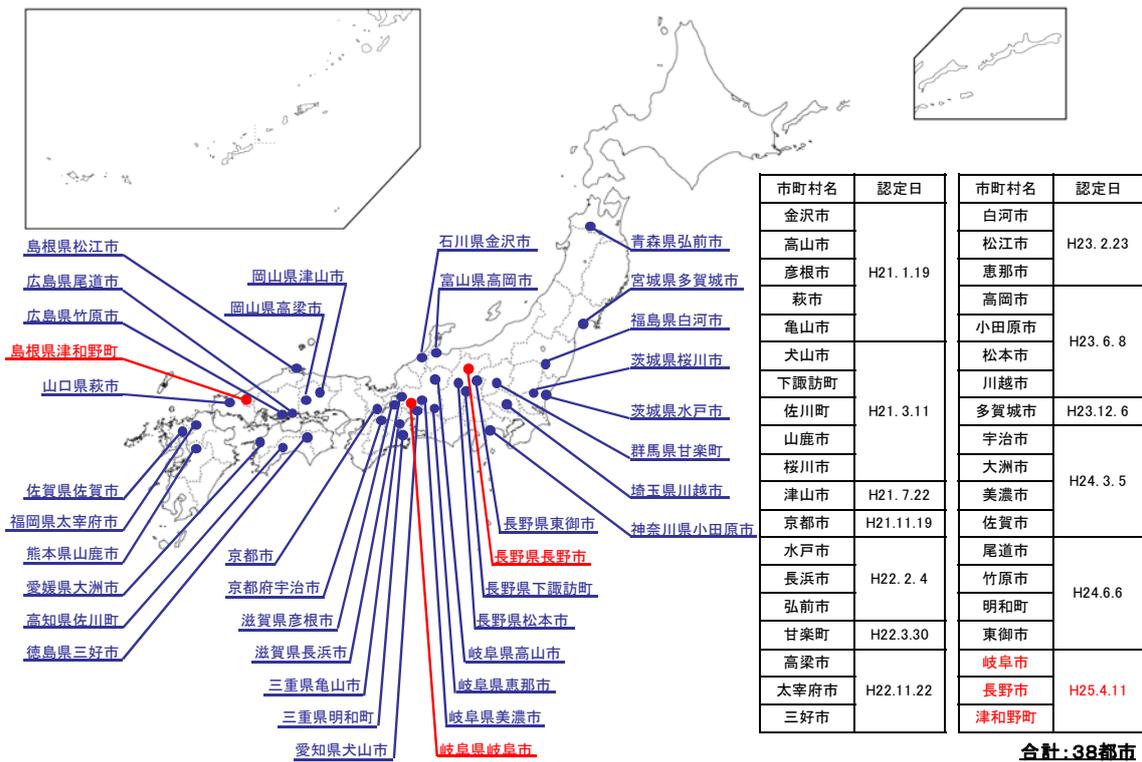
市町村	認定日
高山市	H21.1.19
亀山市	H21.1.19
犬山市	H21.3.11
恵那市	H23.2.23
美濃市	H24.3.5
明和町	H24.6.6
岐阜市	H25.4.11

◎歴史的風致維持向上計画の認定について

「歴史まちづくり法」は、地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援すべく平成20年5月に公布され、同年11月に施行されました。

この法律は、我が国固有の歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定することで、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するものであり、これまで高山市、亀山市等35市町の計画を認定しています。

◎全国における歴史的風致維持向上計画の認定状況



◎認定する岐阜市歴史的風致維持向上計画について

史跡「^{ぎふしやうあと}岐阜城跡」を含み、岐阜まつり等の祭礼や岐阜提灯等の伝統工芸が受け継がれ歴史的町割りや建造物が残る岐阜城下町、1300年以上続く鵜飼が行われる長良川や鵜匠が住む^{うかいや}鵜飼屋地区の区域を重点区域とし、岐阜公園の再整備、歴史的建造物の修理・修景に対する助成、長良川鵜飼伝承館における鵜飼文化の情報発信、岐阜提灯の振興事業等が位置付けられています。



【長良川で行われる鵜飼】

詳細については、別添資料をご参照下さい。

配布先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ
 解禁：4月11日赤澤国土交通大臣政務官手交後解禁

【問合せ先】

中部地方整備局 建政部 計画管理課 課長 堀口 岳史 / 課長補佐 林 美隆
 TEL 052-953-8571

岐阜市の維持向上すべき歴史的風致

岐阜市には、わが国の歴史上の転換期に活躍した、斎藤道三公や織田信長公により築かれた城下町の町割りを始め、江戸後期から戦前に建てられた町屋や神社仏閣が数多く残っている。また、長良川や金華山に代表される美しい自然環境は多くの人の心を惹きつけてやまない。そうした豊かな環境のもと、鶴匠と鶴が一体となって緑り広げられる鶴飼、華麗、勇壮、賑やかな各地の祭りや渡し舟、更には伝統の技術を用いた岐阜提灯、岐阜和傘の生産など、地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の営みは、市内で今なお息づいている。

(1) 長良川鶴飼と鶴匠の家 にまつわる歴史的風致

古典漁法を今に伝える長良川鶴飼は、1300年以上の伝統を誇り、夏の風物詩として訪れる人を魅了している。鶴匠の家は、鶴と共に生きる様々な工夫が施され、川で行われる祭りや行事には、川に関わる人々の思いや願いが込められている。そうした、川を守り、川と共に生活する歴史は、現在も脈々と受け継がれている。



長良川鶴飼

短冊流し

(2) 岐阜まつりと岐阜城下町 にまつわる歴史的風致

岐阜城と一体となった岐阜城下町には、戦国時代に由来する町割りが今も残されている。また岐阜市の総氏神である伊奈波神社の「岐阜まつり」は、岐阜町として栄えていた時代の華やかさと風情を今に伝えている。



史跡岐阜城跡

岐阜まつり 宵宮

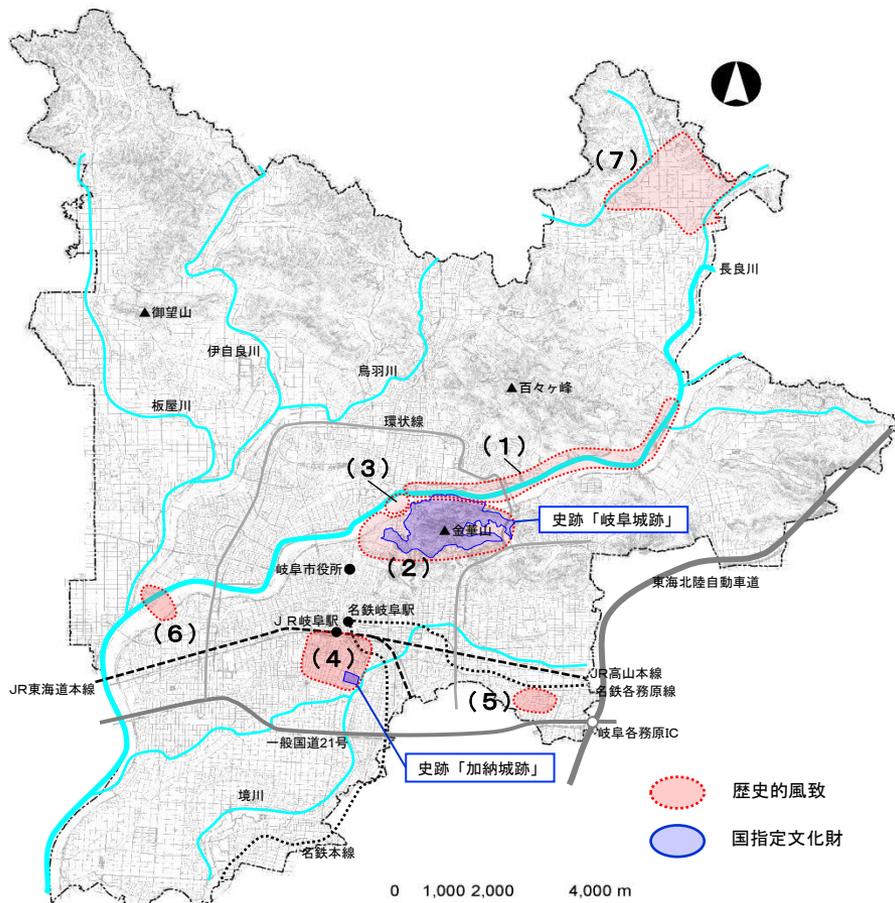
(3) 岐阜提灯・岐阜うちわと川原町の町屋 にまつわる歴史的風致

川湊が置かれた川原町には、水運により運ばれた和紙や竹などを活かした伝統工芸が生まれた。今もそこには、岐阜うちわの製造販売を続ける商店や紙問屋が残っており、川湊の名残を感じることができる。



川原町のまちなみ

岐阜うちわ商店



(4) 加納天神祭り・岐阜和傘と加納城下町にまつわる歴史的風致

加納城の城下町であり、中山道の宿場町であった旧加納町では、城跡や町割り、また加納城の守護神としての加納天満宮が歴史を感じさせる。神社で行われる祭りの賑わいや、和傘を広げた干場の風景からは、江戸時代から続く人々の営みを垣間見ることができる。



史跡加納城跡

天神祭りの山車

(5) 手力の火祭り^{てちからお}と手力雄神社 にまつわる歴史的風致

平安時代に創建された手力雄神社の境内を舞台に、200年以上も前から、豊作や無病息災を祈願し、氏子達が勇壮で活発な火祭りを繰り広げている。氏子達にとって祭りは生活の一部となっており、巨大な行灯や花火神輿は見る者の目を釘付けにする。

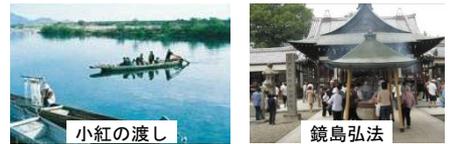


手力雄神社

手力の火祭り

(6) 小紅の渡し^{おに}と鏡島弘法 にまつわる歴史的風致

江戸時代、軍事上、技術上の理由から鏡島地区の長良川には橋が架けられず、小紅の渡しは地域の足の役割を果たしてきた。渡船場付近には、奈良時代に空海が築いた鏡島弘法があり、今なお渡しにより参拝に向かう人々の様子は、古来の道としての風情を醸し出している。



小紅の渡し

鏡島弘法

(7) 三輪祭り^{てちからお}と三輪神社 にまつわる歴史的風致

鎌倉初期に開削された山県用水の管理には、今も三輪神社の氏子達が深く関わっている。周囲に水田が広がるのどかな風景と、飛鳥時代に創建された三輪神社で繰り広げられる祭りの賑やかな様子が、良好な歴史的風致を醸し出している。



山県用水と三輪神社

三輪祭り

岐阜市の重点区域における施策・事業概要

名称：金華・鶺鴒屋区域
面積：約550ha

①歴史的風致の拠点となる施設に関する事業

岐阜公園再整備事業

史跡「岐阜城跡」や岐阜公園の歴史的価値を活かし、観光客や市民に親しまれる公園として再整備する。



岐阜公園三重塔

岐阜公園三重塔修復整備事業

岐阜公園のランドマークとして、市民に親しまれている岐阜公園三重塔を、損傷状態を調査したうえで、保存活用のための大規模な修繕を行う。

織田信長居館跡発掘活用事業(史跡岐阜城跡整備)

史跡「岐阜城跡」区域内にある山麓部城主居館跡(織田信長居館跡)における史跡整備を行うとともに、効果的な活用方法について検討する。



織田信長居館跡発掘現場

歴史的建造物群景観形成助成制度

川原町地区内の町家等の歴史的建造物の維持・保全や一般建造物を歴史的まちなみに調和させる修景工事について、工事費の一部を助成する。

景観重要建造物等助成事業

景観重要建造物及び都市景観重要建築物の維持修繕、保存のための工事について、工事費の一部を助成する。

ぎふ景観まちづくりファンド事業

金華地区内の歴史的価値の高い町家等を維持・復元していく工事や、一般建造物を歴史的まちなみと調和させていく工事について、工事費の一部を助成する。

- 重点区域
- ①拠点となる施設に関する事業
- ②周辺環境整備に関する事業
- ③その他のソフト事業
- 国指定文化財
- 市指定文化財
- 登録有形文化財
- その他の歴史的建造物



②歴史的風致の周辺環境整備に関する事業

無電柱化推進事業

岐阜公園内及び隣接する市道において、電線共同溝敷設による無電柱化整備を行い、景観に配慮した道路修景整備を行う。



無電柱化整備のイメージ

道路整備事業(電線共同溝整備、道路修景整備)

未整備の幹線道路を、歩行者・自転車の安全を確保した上で、周囲の景観にも配慮した修景整備を行う。



道路修景整備のイメージ

ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)

御鶺鴒街道など歴史的ないわれのある道路について、歩行者の安全性と歴史的景観に配慮した道路修景整備を行う。



道路修景整備のイメージ

史跡岐阜城跡説明板整備事業

来訪者に史跡岐阜城跡の魅力を満喫してもらうための、サイン整備を行う。



説明板の設置イメージ

③その他歴史的風致の維持向上に関する事業

岐阜市長良川鶺鴒伝承館(長良川うかいミュージアム)事業

長良川鶺鴒文化を発信する拠点として、各種事業を展開。

鶺鴒観覧船等の運航事業

鶺鴒観覧船等の運航管理、鶺鴒観覧船の新造及び補修。

長良川まつり補助事業

「長良川まつり」の運営費の補助を実施。

ふるさと大好き鶺鴒事業

小学生が鶺鴒観覧を行う場合、鶺鴒観覧料の半額補助を実施。

長良川中流域の文化的景観保存調査事業

長良川中流域の歴史や伝統文化の本質的価値を明らかにする調査を実施。

伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業

伝統的工芸品である「岐阜提灯」の後継者育成・意匠開発等。

「信長学」推進プロジェクト

市民及び全国の信長ファンと協働で、織田信長公に関する歴史資料の収集等を実施。

市史編纂事業

今日まで市の歩みを記録する「新たな市史」の編纂を行う。